



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東  
 コード番号 2883 URL https://www.dai-rei.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 史好  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 黒川 岳夫 (TEL) 03(3536)1551  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,828	2.8	595	26.0	600	25.0	403	26.1
2019年3月期第2四半期	13,452	△2.7	472	△28.5	480	△27.7	320	△28.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第2四半期	67.29		—					
2019年3月期第2四半期	53.28		—					

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,000	7,624	69.3
2019年3月期	12,262	7,626	62.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,624百万円 2019年3月期 7,626百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	55.00	55.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,600	1.3	1,200	12.5	1,200	10.8	820	11.5	136.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	6,008,300株	2019年3月期	6,008,300株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	38,051株	2019年3月期	27株
------------	---------	----------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	5,997,372株	2019年3月期2Q	6,008,273株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資などの堅調な内需により、伸びは弱いながらも底堅く推移しているものの、米中貿易摩擦の影響、英国の合意なきEU離脱への懸念の高まりや日韓問題の長期化など、世界経済が減速傾向にあるなかで先行き不透明な状況が続いております。

国内食品業界におきましては、物流費の増加、原材料価格の高止まりや人手不足等に加え、消費税増税後の景気の先行きが不安視される中で、消費者の生活防衛意識は継続しており、厳しい環境が続いております。

このような状況のもと当社は、新商品の販売やユーザーへの直接販売に引き続き注力するなど収益力の向上に努めてまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、外郭団体PB商品などの拡販に努めましたが、他社との価格競争が厳しかったことにより売上高5,619,982千円（前年同期比3.4%減）、ミート事業におきましては、「楽らく匠味シリーズ」の拡販に努めたことにより売上高1,393,301千円（前年同期比0.4%減）、その他事業におきましては、大手ユーザーとの取組み強化が引き続き好調に推移したことにより売上高6,815,537千円（前年同期比9.3%増）となりました。これにより当期の売上高は13,828,821千円（前年同期比2.8%増）となりました。

損益面につきましては、値引き削減による粗利率改善などにより、営業利益は595,554千円（前年同期比26.0%増）、経常利益は600,381千円（前年同期比25.0%増）、四半期純利益は403,592千円（前年同期比26.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第2四半期会計期間末における総資産は、11,000,849千円となり、前事業年度末と比較して1,261,784千円減少となりました。これは主に現金及び預金が975,108千円、受取手形及び売掛金が192,500千円減少したことによるものです。

#### (負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、3,376,591千円となり、前事業年度末と比較して1,259,956千円減少となりました。これは主に買掛金が1,282,152千円減少したことによるものです。

#### (純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、7,624,258千円となり、前事業年度末と比較して1,827千円減少となりました。これは主に四半期純利益の403,592千円計上と配当金の支払330,455千円により利益剰余金が73,137千円増加した一方で、自己株式の取得により74,868千円減少したことによるものです。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて975,108千円減少して3,063,192千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、546,624千円の支出（前年同期は611,483千円の収入）で、主な収入要因は税引前四半期純利益600,381千円、売上債権の減少額192,500千円であります。一方、主な支出要因は仕入債務の減少額1,282,152千円、法人税等の支払額211,804千円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、15,232千円の支出（前年同期は152,343千円の収入）で、収入の主なものは貸付金の回収による収入86,000千円であります。一方、支出の主なものは貸付けによる支出100,000千円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、412,842千円の支出（前年同期は338,248千円の支出）で、支出の主なものは配当金の支払額330,455千円であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の将来予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想から変更ございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,038,301	3,063,192
受取手形及び売掛金	4,943,353	4,750,852
商品	2,220,971	2,103,567
その他	115,100	159,142
貸倒引当金	-	△470
流動資産合計	11,317,726	10,076,285
固定資産		
有形固定資産	651,070	648,842
無形固定資産	65,888	48,236
投資その他の資産		
その他	235,259	235,492
貸倒引当金	△7,310	△8,006
投資その他の資産合計	227,949	227,486
固定資産合計	944,908	924,564
資産合計	12,262,634	11,000,849
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,520,855	2,238,703
未払法人税等	234,986	223,654
賞与引当金	31,282	37,394
その他	518,253	533,385
流動負債合計	4,305,377	3,033,137
固定負債		
退職給付引当金	224,264	234,189
その他	106,906	109,264
固定負債合計	331,170	343,454
負債合計	4,636,548	3,376,591
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金	686,951	686,951
利益剰余金	5,024,623	5,097,761
自己株式	△47	△74,916
株主資本合計	7,621,352	7,619,621
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,733	4,636
評価・換算差額等合計	4,733	4,636
純資産合計	7,626,086	7,624,258
負債純資産合計	12,262,634	11,000,849

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	13,452,642	13,828,821
売上原価	11,372,242	11,584,270
売上総利益	2,080,400	2,244,550
販売費及び一般管理費	1,607,840	1,648,996
営業利益	472,559	595,554
営業外収益		
受取賃貸料	4,488	4,488
その他	5,407	2,468
営業外収益合計	9,895	6,956
営業外費用		
賃貸収入原価	1,480	1,500
その他	569	628
営業外費用合計	2,050	2,128
経常利益	480,403	600,381
税引前四半期純利益	480,403	600,381
法人税等	160,254	196,789
四半期純利益	320,149	403,592

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	480,403	600,381
減価償却費	30,021	28,511
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	1,166
受取利息及び受取配当金	△1,447	△708
賞与引当金の増減額(△は減少)	△32	6,112
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,271	9,924
売上債権の増減額(△は増加)	△311,167	192,500
たな卸資産の増減額(△は増加)	△369,177	114,637
仕入債務の増減額(△は減少)	858,963	△1,282,152
その他	△2,084	△5,901
小計	686,750	△335,527
利息及び配当金の受取額	1,447	708
法人税等の支払額	△76,714	△211,804
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>611,483</b>	<b>△546,624</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,424	△1,530
無形固定資産の取得による支出	△1,660	-
投資有価証券の取得による支出	△440	△447
貸付けによる支出	△120,000	△100,000
貸付金の回収による収入	282,000	86,000
その他	868	745
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>152,343</b>	<b>△15,232</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△7,793	△7,518
自己株式の取得による支出	-	△74,868
配当金の支払額	△330,455	△330,455
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△338,248</b>	<b>△412,842</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,102	△408
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	426,679	△975,108
現金及び現金同等物の期首残高	2,979,821	4,038,301
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,406,501	3,063,192

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。